

年 度 評 価 シ ー ト

課名 観光・MICE推進課

施設の名称 由比本陣施設	指定管理者名 特定非営利法人ふれあい由比
<p>1 履行状況</p> <p>令和4年度は、指定管理期間（令和3年度から令和7年度までの5年間）の2年目であり、指定管理者は前期間から引き続き指定管理業務を担っている。</p> <p>指定管理業務は、業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。</p> <p>（1）維持管理業務</p> <p>建築物及び建築設備の保守点検、施設内の清掃等を日常的に実施したほか、専門的な知識又は技術を必要とする「機械警備業務」、「自動ドア保守点検業務」等の維持管理業務を第三者に委託して実施した。</p> <p>また、施設修繕を適宜実施し、来館者が安全かつ快適に利用できるよう、施設の適切な維持管理に努めている。</p> <p>（2）施設入館者数</p> <p>由比本陣施設の構成施設のうち、由比宿交流館の令和4年度の入館者数は27,315人で、令和7年度の目標値45,299人に対して達成率60.2%、年度目標値41,400人に対して達成率66.0%で、いずれも達成できなかった。（※参考：令和3年度入館者数22,427人、年度目標値40,100人、達成率55.9%）</p> <p>本陣記念館（御幸亭）の令和4年度の入館者数は2,687人で、令和7年度の目標値5,084人に対して達成率52.9%、年度目標値4,330人に対して達成率62.1%で、いずれも達成できなかった。（※参考：令和3年度入館者数2,299人、年度目標値4,080人、達成率56.3%）</p> <p>前年度比では入館者数は、交流館では4,888人（21.8%）、御幸亭では388人（16.9%）増加し、着実に由比地域への来客が戻っていることが伺えるが、新型コロナウイルス感染症流行前の平成31年度比では、交流館では22.0%減、御幸亭では21.7%減と、完全な回復には至っていない。近年続く桜えび漁の不良や関連イベントの中止や客船の寄港停止によるインバウンド旅行者の減少等、地域全体の誘客力の低下が考えられる。</p> <p>（3）事業実施状況</p> <p>事業計画書のとおり、月平均約3件ペースで、交流館（芝生広場を含む）及び御幸亭においてイベント又は体験教室等を実施している。一部事業は地元団体と連携したものであり、由比地域の主要なイベントが開催中止となる中、地域の拠点施設として誘客に努めている点は評価できる。</p> <p>また、同敷地内の東海道広重美術館の指定管理者とは、市所管課を含めた3者による連絡協議会を毎月開催して情報共有・意見交換に努めており、年間を通して連携事業を実施している。</p>	

＜令和4年度の主な主催事業＞

ア イベント・講習会

(ア) 由比宿交流館

- ・本陣夏まつり2022 ・本陣冬まつり2023 ・ストロー桜えび作り
- ・つるし折り紙桜えび作り ・由比交響吹奏楽団演奏会 ・カメレース
- ・干支のマスコット作り ・ゆい母親クラブによる講習会 等

(イ) 御幸亭

- ・御幸亭「お抹茶DAY」 ・投扇興A*S O*B I ・お抹茶とお琴の調べ
- ・福袋プレゼント ・春待ち茶会 等

イ 展示

- ・蒲原塗り作品展 ・和紙絵展 ・己書作品展 ・富士山写真展
- ・お太鼓祭り展 ・第17回ゆい年賀状版画コンクール応募作品展
- ・東海道五十三次～浮き絵展～

ウ 東海道広重美術館との連携事業

- ・由比本陣公園全巻入館キャンペーン ・宝さがしゲーム
- ・第17回ゆい年賀状版画コンクール

エ その他

東海道まちあるきホームページへの情報提供や、ウォーキングやサイクリングでの来訪者に対する道案内や観光案内等、東海道歴史街道の推進にも努めている。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

統括責任者を置き、利用者からの意見にすぐに対応できる体制を整えており、また朝礼時に情報共有の機会を設けるなど、職員全員で対応できるよう努めている。

利用者アンケートでは、主催事業に対して好意的な感想がある一方、様々な意見が寄せられていることから、継続的な運営の検証及び改善に取り組んでもらいたい。

＜令和4年度の主な意見（アンケートより）＞

- ・特産品の紹介などをわかりやすくしてほしい。
- ・子ども向けのイベントをやってほしい。
- ・イベント情報を幅広く提供してほしい。

また、5月には、本来の開館時間に本陣公園の正門が開いておらず、来訪者の指摘があるまでその事実を覚知していなかった事案が発生した。対応策として、門外看板の修繕に加え、同敷地内にある東海道広重美術館と併せて開館時間前の確認手順を見直すなど、本市からも再発防止の徹底を依頼したところである。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用者満足度調査

施設利用者に対して、館内に設置した投書形式の利用者満足度調査を行った。

展示内容について「とてもよかった」、「よかった」と回答した割合は85.0%（令和3年度84.9%）、スタッフの対応について「とてもよかった」、「よかった」と回答した割合は71.0%（令和3年度77.0%）と、展示内容の満足度は目標値の80%を達成したが、スタッフ対応の満足度は昨年度に引き続き目標値を下回った。この結果を検証し、より良い施設運営に努めてほしい。

(2) 市民アンケート

当課所管5施設（東海道広重美術館、由比本陣施設、清水港船宿記念館、坐漁荘記念

館、三保真崎グラウンドゴルフ場)で実施しているアンケート調査によると、施設の認知度は39.8%と昨年度を下回った。(令和3年度47.0%)。旅行者や訪問者が由比地域に来る前に施設を認知してもらえるよう、PRする方策の検討が必要である。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務の収支状況については、概ね予算のとおりにより執行されており良好である。

5 総括的な評価(課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など)

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

本施設は由比地域の地域振興及び観光交流拠点として、由比地域への来訪者に対する情報発信や文化交流の提供場所となることが期待されている。また、指定管理者は運営方針として、江戸時代の東海道「由比宿」の本陣跡地に整備した施設という背景も踏まえ、歴史文化に関連する事業を中心に集客と利用者満足度の向上に努めることを掲げている。

地元団体である指定管理者の強みを活かし、地元の漁業・農業・商業関係団体、ボランティア団体等、地元とのネットワークを活用した事業実施や情報発信に努めている点は評価できるが、歴史文化や東海道まちあるきを意識した事業実施など、運営方針を意識し更なる創意工夫に期待したい。

今後の取組として、由比地域以外に対し施設自体の認知度を高めるため効果的な手法を検討するとともに、利用者増につながる魅力的な事業や、東海道広重美術館指定管理者と連携した両館の入館者増及び収入増に繋がる自主事業等の実施を引き続き検討し、施設の魅力向上を期待したい。